

平成 31 年 2 月 25 日発行



社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉442-1
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷 231-7
TEL (029) 292-3900(代)

さわらび

第 70 号



「どうしようか…」(桜の郷 元気)

泰仁会・江隆会ホームページ

泰仁会

検索

クリック!



泰仁会ホームページ



やさとブログ

◇◇ 目 次 ◇◇

新年を迎えて……………2	お餅の花を咲かせましょう…………5
新しい時代に向けて……………2	「施主」……………6
やさと新年会……………3	地域のための施設……………7
ピザ焼きでほっこり……………3	施設看護職員として目指すケア…7
今年もサンタがやってきた! ……3	EPA 新人紹介……………8
新年に願いを込めて……………4	事故対策, 身体拘束ゼロ
いつまでもお正月気分……………5	苦情処理委員会……………8
春近し、福来たる! ……5	すくすく通信……………8
小さな音楽隊来園! ……5	バレーボール交流試合……………8
おめでとうございます! ……5	編集後記……………8

新年を迎えて

社会福祉法人 泰仁会

理事長 江畑隆夫



理事長 夫
江畑 隆

窓越しにかすむ筑波二波に朝の光が射し初め平成最後の年、そして新しい時代の扉を開く二〇一九年を迎えた。すでに平成の御代は歴史的一幕になるうとしています。四月末日で平成は終わりを告げ、新天皇の下、新しい元号で新しい歴史に踏み出すこととなりますが、元号が変わっても我々の暮らしに変化が訪れることはないでしょう。

ただ人々の心に新しい風が吹き、新たな未来への希望が湧き上がってくるのだらうと思います。

一方、平成の時代はバブルが崩壊し、格差が拡大、縮小する経済や地方の再生、高齢化社会、大災害の対応に追われた歳月でした。本県でもJCO臨界事故、東日本大震災、つくばの竜巻、常総水害等、大きな災害に見舞われています。

私達の施設もその影響を受け、入所の皆様方の安全確保のため、全職

員が最大なる努力を払われたことに深く感謝を申し上げます。



新しい時代に向けて

特別養護老人ホーム やさと

施設長 高城 裕



施設長 裕
高 城

昨年中は、ご利用者及びご家族の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様から温かいご支援とご協力を賜り、新年を迎えることができましたこと心より御礼申し上げます。

さて、当施設も平成七年十月に開設してから二十四年目を迎えました。平成という激動の時代を振り返りますと感慨深いです。

特に私達にとって忘れてはいけな出来事、介護保険制度がスタートした平成十二年です。「措置制度」から「契約制度」へ大きな転換期となりました。福祉サービスを必要としている人に対し、行政が必要性を判断して利用者のサービスを決定する措置制度から利用者が自らの意思でサービスを選択できる契約制度に移行しました。

この改革の背景には、少子高齢化などの諸問題があります。あらゆる面で財源確保が必要となり、介護サービスは、税金から保険料で対応す

ることになりました。また、利用される方の権利としては、サービスを自由に決定できること、そして事業者としてもサービスの質を向上させ他との差別化、競争することが必要となりました。ご利用する方にとって適切な介護サービスが提供できる体制が構築されたこととなります。

私は、措置制度の時代、介護職員として働いていました。経営という言葉は、今ではよく耳にしますが、当時は、稼働率と言われてもピンとこなかったことを思い出します。あれから二十年以上が経ち、法人経営に携わらせていただいています。当法人の経営理念の一つに「地域の社会福祉向上のため永続発展致します」とあります。法人存続があつてのサービスであり、良いサービスを提供しているも法人が無くなってしまうと意味がありません。いかに法人存続のための実践が重要となつていく時代の変化と共に感じていきます。今年、新しい元号に変わる変革の年となります。私達も成長していく中で、素晴らしい年となることを願い前進、挑戦していきたいと思っております。



やさと新年会

介護職 青木 聡太郎

やさとでは一月一日に新年会を開催しました。ご利用者・職員一同、おとそや甘酒で乾杯し新年を祝いました。

その後、福引き大会を行い、皆様様々な景品に大変喜ばれておりました。

次に、職員による毎年恒例の二人羽織りを行いました。生クリームまみれになった職員の顔を見て皆様初笑い！

ご利用者・職員共、楽しい時間を過ごすことができました。皆様にとつて、今年も良い一年になりますように。



ピザ焼きでほっこり

在宅介護支援センターやさと
前 沢 光 枝

十一月十五日、朝日里山学校にて家族介護者等交流会を開催し、ピザ作り体験を行いました。

ピザ生地が発酵している間に、やさとの井澤管理栄養士による健康と栄養に関する講話がありました。

石窯で焼いたピザは上手に出来上がり、参加者同士で日頃の様子を語りながら秋の風景を満喫しました。



今年もサンタがやってきた！

こぎつねの郷
保育士 市川 智美

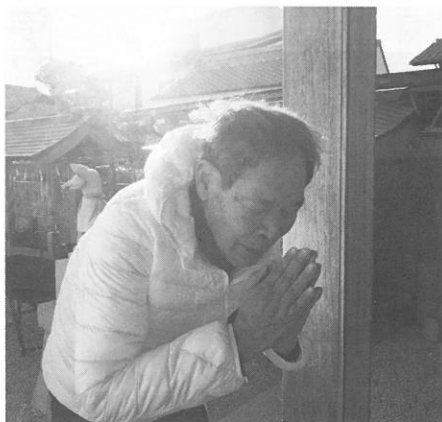


十二月十九日にこぎつねの郷でクリスマス会を行いました。みんなでクリスマスツリーの製作をして、昼食にはアンパンマンサンタのおにぎりやトナカイウインナーを食べ、楽しいひと時を過ごしました。食後はサンタの登場に喜ぶ子や顔が引きつる子もいましたが・・・プレゼントをもらおうと嬉しそうでした♪





新年に 願いを 込めて



やさとでは、今年のお正月もご利用者と一緒に初詣に行っていました。

皆様、思い思いに手を合わせて新しい一年を元気に過ごせるようにお祈りしました。



いつまでもお正月気分

デイサービスやさこ
介護職 岡崎 明裕



一月二十七日、デイサービスやさこで新年会を行いました。割烹万葉では豪華な食事に普段は少食の方も完食されました。
食事の後は施設に戻り、エムズラテンジャズバンドの皆様による名演奏に青春を思い出しながら皆様聴き入っていました。



春近し、福来たる！

二月三日、節分の豆まきを行いました。

「鬼は外！福は内！」と大きな声で、職員扮する鬼を目がけて福豆を投げました。また、年男・年女の方には代表で玄關でも豆まきをして頂きました。

皆様、年の数だけの福豆は食べられませんでしたが、楽しいひと時を過ごすことができました。



小さな音楽隊来園！

国府あおい
介護職 若菜 美恵子



十二月二十三日、慰問として小河原音楽教室の皆様に来園頂きました。フルート演奏、子供たちによるハンドベルの演奏、歌などの披露、またプレゼントまで頂きました。
子供たちの元気な笑顔に皆様の心もほっこり。ありがとうございます。



おめでとーございます！

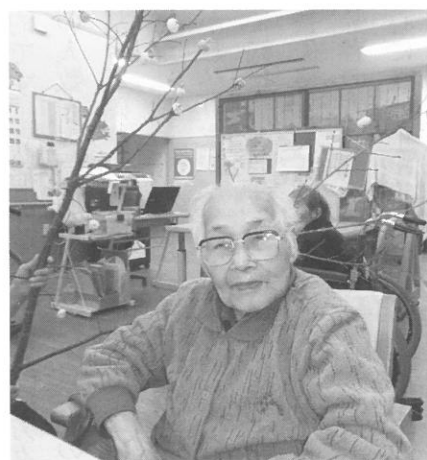
十月十七日に茨城県社会福祉大会が常陸太田市民交流センターにて開催され、特養やさこ山口相談員、グループホーム塚田介護員、デイサービス小仁所運転手が茨城県社会福祉協議会会長顕彰を受賞しました。
十一月には施設から全国老人福祉施設協議会に推薦を行い、高城施設長が勤続二十年表彰を受賞しました。受賞者の皆様、おめでとうございます。

これからも地域の社会福祉向上の為、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



お餅の花を 咲かせましょう

一月十四日に茨城の伝統行事であるならせ餅を飾りました。



「施主」



元氣 長直 人
桜の郷 施設 永山 直人

「施工図が早く出ないと進まないよ!!」、先日昨年の暮れに「地鎮祭」を無事に執り行い、着工された九月運営開始予定の「在宅複合型施設・桜の郷元気ひたちの長岡」の第四回目になる「建築打合せ会議」に参加をしました。冒頭の言葉は、その時に出席した関係者から出た発言です。七月半ばの完成・建物引き渡しという一つの目標に向かって、出席者達は激論していました。私は施主という立場で参加していますが、間に挟まれた中で、その「空気」とは別の「関心」を抱いていました。私たちが日ごろ実施している、ご利用者の「生活支援会議」より随分と白熱しているな。と感じたのです。違った表現を使えば、「プロ意識が強いな。」と感心したのです。我々の

場合は、ご家族にも参加をしていただき、一人のご利用者の「生活支援会議」を定期的に開催しています。建築に関わる業者にも「熱意」があるように、我々にもご利用者支援に関わる「熱い思い」があります。もともとと深いところでの議論をしていきたいと思ひ直しました。建築現場の言葉を借りれば、「施主」はご利用者・ご家族です。「設計士」は介護施設のケアマネジャーか、あるいは居宅介護支援事業所のケアマネジャーにあたると思ひます。それは、「設計図」が「ケアプラン」であり、現場に対応した「施工図」が各事業所の「介護計画書」や今でいう「24Hシート」だろうなと思ひます。アセスメント(課題分析)をして、「施主」となる「ご利用者・ご家族」の想いをしっかりと受け止めて、その想いを実現させる事が我々の究極の目的です。「絵に描いた餅」では、建物は立ちませんが、ご利用者を幸せにはできません。我が桜の郷 元気の運営方針となる「地域と共に暮らし地域につなげるサービスの実践」を「形」にするために、デイサービス一日四十名定員365日営業・ショートステイ二十

名と、地域の高齢者の方々が、住み慣れた家庭や地域で暮らし続けられるように・施設入居しても、自立度(自律度)が高まって地域や家庭への復帰が叶うようにと、桜の郷 元気を母体とした「地域包括ケア」のスタートです。今、二十代・三十代で働くスタッフが三十年後、あるいは四十年前先に活躍している姿は、法人所在地の石岡市とも連携を取り、広く県内の福祉課題をカバーしている姿をイメージします。これからの私の仕事は法人との連携の中で、「広く社会に貢献できる人財育成」が第一になる事は間違ひがありません。さて、前号でもご紹介しましたが、理念に基づき、「自立(自律)支援の取り組み」を進めてきた結果、今年度の四月から一月の十ヶ月間で、十三名の入居者の方が、要介護認定の更新調査を受けました。その結果、十四名の方に「要介護状態の改善」が見られ、十三名の方が「現状を維持」をされました。平均年齢が九十歳近くですから、ご本人・ご家族、そして我々職員も頑張った明らかな証明です。一番頑張ったのは、やはり入居者のみなさんです。「表彰状」をお渡しする時の素敵な笑顔が印象

的です。「状態の改善・維持」の方々の人数を更新調査を受けた方からの割合で確認すると、実に八割以上の方が「良い」方向に向かってい事がわかりました。さて、この結果だけで満足しているようでは、私は施設長失格です。「人生の先輩」である高齢者の方々の気持ちをしっかりと、心に受け止めることができているのか。本当に施設をご利用するご家族の気持ちを理解しているのか。絶えずに自問自答しなければなりません。今、入居されているご家族の方で、どうしても親の住みなれた自宅で介護をしたい。という思いがあり、面会に訪れながら入浴ケア等を一緒に行って練習し、帰ってきた時に備えたいという希望のある方がいらつしやいます。全力をかけてこの願いを実現させたいです。一月末に、毎年度恒例の法人管理職合同での「事業計画策定研修会」が石岡市のホテルで実施されました。初日の冒頭に桜の郷 元気管理職のスタッフには、「新年度においても、自分の家族が利用しても良い・自分自身が利用しても良い施設づくり邁進してほしい。初心を忘れずにいよう」とお願いしたところです。

地域のための施設

桜の郷元気 ひたちの長岡
開設準備室 木 下 成 哲



平成三十年十二月十三日、雲ひとつない青空の下、新施設 桜の郷元気 ひたちの長岡の地鎮祭を執り行いました。

場所は茨城町長岡、町立葵小学校前。デイサービスは最大定員四十名。シヨートステイは、個室ユニット型で定員二十名の在宅複合型の施設です。開設予定は平成三十一年九月を指します。



事業のコンセプトは、「地域の方が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるためのサポート」です。

桜の郷元気が開設より十五年目を迎えられたのも、地域の皆様のご協力があってこそ。

長岡の地でも、地域の皆様が「あってよかった。」と思っただけのように精進してまいります。



施設看護職員として目指すケア

桜の郷元気
看護主任 野 末 知 美

桜の郷元気では五名の看護職員でご利用者の健康管理を行っています。主に看護師が関わるご利用者の人数はシヨートステイを含めて八十名になります。八十名になるとご利用者一人一人と関わる時間を十分に持つことも難しく、体の状態を把握することも容易にはできません。そこで、今年度は看護職員を二グループに分け、ご利用者四十名ずつの担当制にしました。しかし、開設時よりユニット八十名をサポートさせて頂いていた体制を変えるのは簡単なことではありませんでした。四ユニットを担当制にするためには看護師の仕事内容を変更していくことや介護職員にも理解を得ながら進める必要があ



ります。進めるにあたり迷ったときは看護職員間やユニット介護職員ともその都度話し合い、協力があつたことで大きな混乱もなく担当制を開始することができました。

現在は四ユニット担当制の効果として、担当する範囲が小さくなりご利用者一人一人の情報を多く把握できるようになりました。さらに、看護職員もユニットで過ごす時間が増えたことでご利用者と関わる時間も増えたり、介護職員ともコミュニケーションを密にとれるようになり連携もしやすくなっています。これからもご利用者それぞれに合わせた医療面でのサポートを介護職員と共に行っていききたいと思います。

EPA新人紹介

桜の郷元気

やさと



ニコラス



グレイス



ジェアン



ジョアン



メイ



プリ



ジェム



十一月二十七日に石井保育士の第一子となる男の子が生まれました。名前は、承太郎くん、体重は3312グラムです。すくすくと元気に大きくなりますように。

すくすく通信

一月二十七日、栃木県の福祉施設職員と河内体育館にてバレーボール交流試合を行いました。



今回はセンチュリー石岡様と合同でチームを組み、準優勝となりました。とても白熱した試合になり、ご参加された皆様には感謝いたします！

バレーボール交流試合

平成最後の年明けとなり三十一年にわたる「平成」も幕を閉じようとしています。天皇陛下が生前退位され、新しい元号に変わる事で、新たなスタート、チャレンジと頭をよぎる方も多いと思います。自分を見つめ直す良い機会と受け止めて、前に進んで行きたいですね。

(E・K)

編集後記

～事故対策委員会より～

・ご利用者が安全に過ごせるように、発生した事故やヒヤリハットの分析を行い、最善の予防策がとれるよう危機意識をもって取り組んでおります。

【桜の郷 元気】

月	9月	10月	11月	12月	合計
ヒヤリ・ハット	183件	164件	127件	147件	621件
事故	14件	9件	15件	12件	50件

【やさと】

月	9月	10月	11月	12月	合計
ヒヤリ・ハット	246件	241件	253件	192件	932件
事故	38件	26件	25件	36件	125件

やさとの数字内にデイサービスやさと、ケアハウス、GHさわらび、国府あおいの件数も含まれています。

～身体拘束ゼロ委員会より～

・現在1名の方が緊急やむを得ず一時的に身体拘束の対象となっております。早期解除に向けて多職種と連携し取り組んでおります。

(やさと)

	9月	10月	11月	12月	合計
桜の郷元気	0件	0件	0件	0件	0件
やさと	0件	0件	1件	1件	2件

～苦情処理委員会より～

【ご意見・苦情内容】

・ケアや接遇、連絡不足によるご意見を頂きました。貴重なご意見として委員会で共有し、改善に向けて取り組んでおります。(桜の郷元気)
・法人内に苦情処理委員会を設置し、ご意見・苦情に関して迅速に話し合いを行い改善に向けて取り組んでおります。(やさと)

	9月	10月	11月	12月	合計
桜の郷元気	1件	1件	0件	3件	5件
やさと	0件	0件	0件	0件	0件